

タイガーアイ (虎目石)

TIGER EYE

タ

鉄分の酸化によって、黄褐色の縞模様が表面をおっている。

南アフリカで産出した虎目石の標本。はっきりとした繊維構造が見える。

光沢は見る角度によって変化し、繊維光と呼ばれる独特のきらめきを持っている。



六方晶系

DATA FILE

名 前	TIGER EYE (タイガーアイ) / 虎目石
化学組成	SiO ₂
色	黄褐色
光 沢	ガラス光沢
螢 光	なし
条 痕	白色
劈 開	なし
断 口	貝殻状
硬 度	モース硬度 7
比 重	2.65

素焼きの陶板にこすりつけると白い条痕が残る。

「鷹の目」の模様を持つ鉱物

虎目石と同じくクロシドライトが石英に変化したときにできるもので、鷹目石（ホークスアイ）と呼ばれるものがある。光の反射によって灰色がかった青色を放つこの鉱物は、カボション・カットしたときの模様が「鷹の目」に似ていることから名づけられた。

虎目石は、アルカリを含む角閃石の一種であるクロシドライト（青石綿）という鉱物に、石英がしみ込んで硬くなり、そのもともとの色である青色が酸化して、黄褐色に変化した鉱物だ。

劈開はなく、ハンマーなどでたたくと貝殻状の断口があらわれる。

キャッツアイの代用品

鉄分を含有しているために黄褐色をしている虎目石だが、加熱処理をすると鉄の成分が化学変化をおこし赤鉄鉱に変わる。これをさらに希塩酸の中に入れておくと、酸の処理で鉄分が溶出し、脱色されて灰色がかった緑色の高価な宝石であるキャッツアイ（猫目石）とそっくりになる。そのため、高値で取り引きされる宝石のキャッツアイの中には、比較的供給が安定して価格の安い虎目石を加工した代用品がまざっていることもある。

▼虎目石の塊。



タイガーアイ（虎目石）

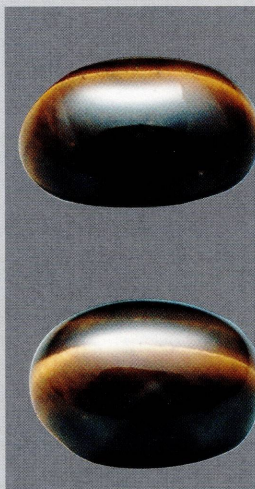


▲虎目石のネックレス。

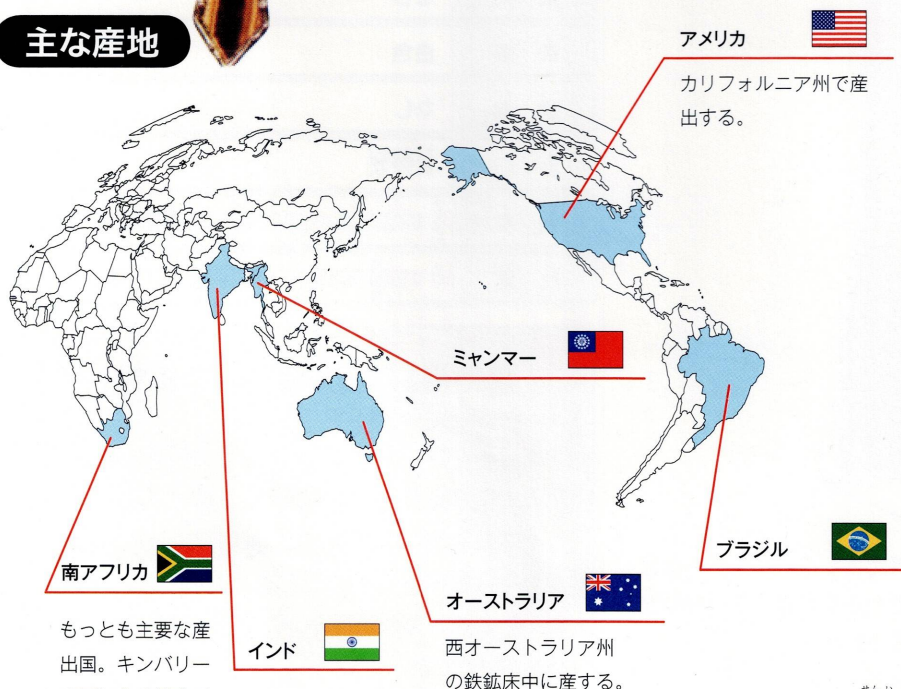
カボション・カット

虎目石独特のきれいな光沢は、研磨やカットリングの方法で違ってくる。研磨は縞もように沿って行われ、カットリング方法はカボション・カットが多く用いられる。カボションとは、フランス語で「爪」を意味する言葉。トルコ石やキャッツアイなど、半透明や不透明な宝石の特殊な光の効果を出すのに適している。

虎目石は、小さい装飾品や沈み彫りのブローチに加工されることが多いが、鉢や花びんのような比較的大きな器もつくられることがある。



主な産地



もっとも主要な産出国。キンバリーの西にある鉱床で産出する。

西オーストラリア州の鉄鉱床中に産する。

▶繊維の方向に沿って研磨された虎目石。

